

書字練習

年 月 日

私はその人を常に先生と呼んでいた。
だからここでもただ先生と書くだけで
本名は打ち明けない。これは世間を
憚^{はば}かる遠慮というよりも、その方が私に
とって自然だからである。私はその人の
記憶を呼び起すごとに、すぐ「先生」と
いいたくなる。よそよそしい頭文字など
はとても使う気にならない。筆を執^とつて
も心持は同じ事である。

出典…こころ 夏目漱石
(上 先生と私より)